

令和4年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会実績報告～

部会名	就労支援部会	部会長・担当者	能野伸治（心促福祉作業センター）
-----	--------	---------	------------------

メンバー:

市内就労系福祉サービス事業所（9カ所）、市内委託相談事業所（3カ所）、鳴滝園障害者就業・生活支援センター、ハローワーク防府、防府商工会議所、防府市障害福祉課

テーマ：働く意欲のある人が「頑張って働こう！」と思える職場がある防府

長期目標	地域の障がい者就労に関わる関係機関によるネットワークを構築・維持し、地域に必要な障がい者就労に関する社会資源の開発や改善を行なっていくこと
今年度の目標	地域の障がい者就労に関わる関係機関のネットワーク再構築と情報共有を行う。 また、これまで実施できていなかった見学会等の活動を、状況に合わせて行っていく。
課題	部会の活動自粛や就労系事業所の増加によりネットワークが弱く、情報共有や交流が少なくなっている。
活動実績	<p><第1回 会議></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年6月9日（木曜日）開催 防府市役所 20名参加 内容は、①これまでの部会活動についての説明、②関係機関の情報共有など <p><第2回 会議></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年10月18日（火曜日）開催 防府市役所 17名参加 内容は、①都市計画課から委託作業に関する説明、②農福連携事業について、③関係機関の情報共有 <p><第3回 学校見学会></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年1月24日（火曜日）開催 山口県立防府総合支援学校 16名参加 内容は、①校内作業学習（授業）の見学、②教員と関係機関の情報交換 <p><第4回 会議></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年3月14日（火曜日）開催 防府市役所 20名参加 内容は、①都市計画課の委託作業についてのアンケート報告②農福連携事業についての報告と意見交換、③令和5年度の活動についての意見交換

令和5年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動計画～

部会名	就労支援部会	部会長・担当者	能野伸治（心促福祉作業センター）
-----	--------	---------	------------------

メンバー:

市内就労系福祉サービス事業所（9カ所）、市内委託相談事業所（3カ所）、鳴滝園障害者就業・生活支援センター、ハローワーク防府、防府商工会議所、防府市障害福祉課

テーマ:

働く意欲のある人が「頑張って働こう！」と思える職場がある防府

長期目標	地域の障がい者就労に関わる関係機関によるネットワークを構築・維持し、 <u>変化していく社会情勢に応じた課題の抽出と解決</u> を行っていく。
今年度の目標	関係機関のネットワークによる情報交換から、一般就労と福祉的就労に関する課題抽出をする。また、新しい支援の情報や雇用の形を考える学びの場とする。
課題	障がい者雇用を希望する企業が増えているが、そのニーズに対応できる人材確保が難しくなっている。就労を希望する障がい者のニーズ変化も起きている。
活動内容(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交換（現状把握・課題抽出など）／年2回 ○お試し農福に関する見学会等／年1回 ○支援学校見学会（施設職員向け）／年1回 ○山口市就労支援部会との意見交換／未定 ○動画・写真を多用した関係機関・施設同士の紹介／未定 ○企業の動向確認／未定 ○執行部会議の開催／必要に応じて

令和4年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動実績～

部会名	研修部会	部会長・担当者	山田 正寛(あおぞら)
-----	------	---------	-------------

メンバー:

副部会長…家永(つぐみ)

企画委員…福田(みらくる 楽さん家) 村川(防府市社会福祉協議会) 小松(えびすや) 永田(愛光園)

アドバイザー…竹原(夢サポート相談所) 津田(夢かれん) 古谷(三田尻訪問看護ステーション) 沖井(たいよう)

部会員…市内事業所から1名参加

テーマ：一人ひとりの幸せをみんなで考える防府市

長期目標	サービス提供職員全体の支援に対する新しい視点の拡充 ネットワーク作り オンラインでの研修機会の獲得
令和4年度の目標	○部会員が各班に分かれ研修のテーマにしたいことを決める →班の数は未定…参加人数を確認後、検討 →研修方法等は各班に任せる →各班には企画委員を配置する ○研修対象者の拡大 →障害福祉サービス提供事業所に限らず地域の方などへ参加を促す ○研修参加者全体のスキルアップ ○研修企画を通じて、各事業所のネットワーク作り ○地域の課題を元にした防府研修の企画・運営
課題	○コロナによる研修頻度の減少 ○コロナによる研修参加人数の低下 ○オンライン研修の不慣れ・リスク ○感染状況が不明なため、先の見通しがたたない ○研修部会員の役割分担ができていない (コロナにより、活動の可否が不明なため)
活動内容	○研修企画 随時オンラインにて開催。 ※必要に応じて対面で行った。 ○オンライン研修 日時8/2(火)・8/10(水)18:00～19:30 テーマ：コロナウイルス感染症の体験談と私達のできる予防について ・zoomを用いたオンライン研修にて開催。 2日に分けて開催、実際に感染した体験談や医療従事者からの感染予防について座談形式で開催した。 ○その他・気づき コロナウイルス感染拡大のため、対面での研修開催が困難であったが、現在は個人、事業所共に対面研修を希望する声も少なくなかった。 今年度より対面での研修企画、研修開催を行っていく。

令和5年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会計画～

部会名	研修部会	部会長・担当者	山田 正寛（あおぞら）
-----	------	---------	-------------

メンバー:

副部会長…家永(つぐみ)

企画委員…神力(フィールド) 永田(愛光園) 三土井(ケアプランセンターえびすや)

アドバイザー…竹原(夢サポート相談所) 津田(夢かれん) 古谷(三田尻訪問看護ステーション) 沖井(たいよう)

部会員…市内事業所から1名参加

テーマ：一人ひとりの幸せをみんなで考える防府市	
長期目標	<p>サービス提供職員全体の支援に対する新しい視点の拡充</p> <p>サービス提供職員のスキルアップ</p> <p>ネットワーク作り</p>
今年度の目標	<p>○部会員が各班に分かれ研修のテーマにしたいことを決める</p> <p>→2班に分かれ企画・運営</p> <p>→研修方法等は各班に任せる</p> <p>→各班には企画委員及び部会長、副部会長を配置する</p> <p>○研修参加者全体のスキルアップ</p> <p>○研修企画を通じて、各事業所のネットワーク作り</p> <p>○地域の課題を元にした防府研修の企画・運営</p>
課題	<p>○企画委員のファシリテーション能力が不足しており、意見の吸出しが十分にできていない</p> <p>○企画委員の不足</p> <p>○研修参加人数低下の心配</p> <p>○企画会議打ち合わせ時間が合わない</p>
活動内容(予定)	<p>○研修企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り対面会議を行う。 ・感染状況に応じてリモートを活用する。 ・今年度の研修は講師を招いて行う。 ・部会員の役割を明確にし、班に分かれ企画委員を中心に企画を行う。 ・研修は10/20(金)・12/22(金)の2回に分けて行う。 <p>○企画会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り対面会議を行う。 ・感染状況に応じてリモートを活用する。 ・日程については、第3水曜9:30から12:00まで <p>※必要に応じてハイブリット会議も検討する。</p>

令和4年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動実績～

部会名	子ども発達支援部会	部会長・担当者	白井 孝典（ひまわり）
-----	-----------	---------	-------------

メンバー：たいよう、ひまわり、はなのうら、つくみ防府、つくみ右田、アンジュ、てだのふあ、あゆみの里、りぶらす、放課後りぶらす、jump、キャパス、みらくる楽さん家、ミライエ楽さん家、ミラサーチ楽さん家、フィールド、どんぐり、キッズアカデミー、なかよし園、加ハセター、華の浦相談、ほのぼの相談室、えびすや、支援センター、防府総合支援学校、地域コーディネーター、事業団ハルハセター、子ども家庭支援センター海北、学校教育課、健康増進課、子育て支援課、障害福祉課

テーマ：～すみなれた防府市でより安心して暮らしていくために～
 発達支援が必要な児のライフステージに応じて、途切れない支援をしていく

長期目標	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関が地域課題を把握し、解決に向けて取り組む 発達支援が必要な児が、ライフステージ（乳児期→幼児期→学童期→思春期→青年期）に応じた必要な支援を受けながら、地域で暮らすための体制づくり
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地域課題の精査及び抽出。課題への取り組み方法を検討。 ※療育・支援の検討に向け、各関係機関（行政、教育、相談支援事業所、サービス提供機関）で共有した基盤を作る。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○会員である相談事業所、サービス提供事業所、行政等、それぞれの課題が異なるため、各課題を精査、抽出し出来ることから取り組んでいく仕組み作り。 ○ライフステージに応じた必要な支援を受けるために、各ステージでの必要な支援を教育と福祉等との連携で途切れない支援体制を検討する。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 日時 令和4年9月16日（金）10時～11時半【zoomによる研修会】 内容 現在感じている課題・自分たちにできることについて話し合おう！グループワーク形式（3グループ） ・第2回 日時 令和5年2月24日（金）10時～12時【zoomによる研修会】 内容 発達障害児の特性に応じた支援について（構造化支援について学ぶ） 講師 山口県発達障害者支援センターまっぴ センター長 岡村隆弘 氏 ○地域課題の調査および検討 <ul style="list-style-type: none"> ・療育を利用する人が多く、療育機関が空いていない。新一年生問題および支給決定における支給量の見直しなど、支援の必要な児童がサービス利用につながるよう調整していく必要がある。 ・不登校児増加に伴う放課後等デイサービスでの対応について、通所事業所連絡協議会にて実態調査を実施。様々な意見が上がったが、学校・保護者・療育機関の連携が不十分であることが浮き彫りとなった。現状を市学校教育課等に伝える機会を設けていきたいと考えている。 ・学校も手一杯で、学校以外の支援が望まれているのか。学校に近づけていける支援（ステップアップ教室のようなもの）。教育関係機関と福祉関係機関が連携するなか

で人材確保を行い、空き教室等を利用して支援が行えるような新たな枠組みの検討はできないものか。不登校児の居場所づくりを推進していく必要を感じている。

○企画会議の開催等

- ・コアメンバー打ち合わせ… 7回

○その他・気づき

今年度の研修はオンライン（ZOOM）にて2回開催したが、いずれもスムーズに開催することができた。終了後のアンケート内で、対面による研修会の開催を希望する声も聞かれた為、来年度は対面研修も視野に入れて企画していきたい。

また、来年度も引き続きサービスを必要とする児童が適切に療育機関を利用できるよう、市や相談支援事業所等と連携して調整を図っていく。不登校児童の受け入れ方や支援方法等についても、学校教育課と連携して教育機関との円滑な連携およびコミュニケーションが図れるシステム作りに向けて取り組んでいく。

令和5年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会計画～

部会名	子ども発達支援部会	部会長・担当者	白井 孝典（ひまわり）
-----	-----------	---------	-------------

メンバー: ひまわり、はなのうら、つぐみ防府、つぐみ右田、アンジュ、てだのふあ、あゆみの里、りぶらす、放課後りぶらす、jump、キャパス、みらくる楽さん家、ミライエ楽さん家、ミラサーチ楽さん家、フィールド、どんぐり、キッズアカデミー、クローバーセンター、華の浦相談、ほのぼの相談室、えびすや、支援センター、防府総合支援学校、地域コーディネーター、事業団ホームレスセンター、子ども家庭支援センター海北、学校教育課、健康増進課、子育て支援課、障害福祉課

<p>テーマ：～すみなれた防府市でより安心して暮らしていくために～ 発達支援が必要な児のライフステージに応じて、途切れない支援をしていく</p>	
長期目標	<p>関係機関が地域課題を把握し、解決に向けて取り組む 発達支援が必要な児が、ライフステージ（乳児期→幼児期→学童期→思春期→青年期）に応じた必要な支援を受けながら、地域で暮らすための体制づくり</p>
今年度の目標	<p>○地域課題への具体的な方策の検討およびアプローチ ※地域課題の解決に向けて、各関係機関（行政、教育、相談支援事業所、サービス提供機関）で情報共有を行い、円滑なコミュニケーションを図るなかでより良い支援に繋げていけるようシステムの構築を図る。</p>
課題	<p>○ライフステージに応じた必要な支援を受けるために、各ステージでの必要な支援を教育と福祉等との連携で途切れない支援体制を構築する。 ・待機児童解消に向けた取り組み ・不登校児童の対応について</p>
活動内容（予定）	<p>○定例会（研修）の開催（年2回程度） ・<u>1回目</u>…9月予定（金曜日の夜間、19時開催。ZOOMにて） 講師：山口県発達障害者支援センターまっぴゅセンター長 岡村隆弘 氏 児発の参加を考慮し、夜間に開催してみる。 （可能であれば市内の幼・保育園にも案内） ・<u>2回目</u>…2024年2月予定 1回目の研修を受けて、グループワークを実施。子どもの支援の取り組みについて、上手くいった例（自ずと上手くいかない例や悩みも出るであろう）を伝え合う。対面研修で行う方向で進めていく。 （可能であれば市内の幼・保育園にも案内）</p> <p>○防府市の課題から取り組みたいこと 昨年度からの課題について、療育機関の空き調整や不登校児童への対応および学校教育関係機関と連携していくためのシステム作りを進めていきたい。また、今年度も子どもの支援・関わりについての研修を通して、各療育機関の資質向上を図っていく。</p> <p>○コアメンバー会議の開催（随時） ・課題解決に向けて具体的方策の検討 ・定例会準備</p>

令和4年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動実績～

部会名	保護者サークル・団体連絡会	部会長・担当者	白石（ゆめサポート相談所）
-----	---------------	---------	---------------

メンバー：めばえ友の会・防府市肢体不自由児父母の会・手をつなぐ育成会・くるみの会
 親父の会・ひめりんごの会・アップルクラブ・山口県自閉症協会防府分室
 ポプリの会・わかくさ園保護者会・障害福祉課・ゆめサポート相談所・クローバーセンター

テーマ：保護者も当事者もきょうだいも家族みんなが困らない社会を目指して

長期目標	<ul style="list-style-type: none"> • みんなの不安を考えていき、何が必要なのかを考える。 • 当事者に近い、親の意見・要望を集約して届けていく為にも、部会員が増えるといい。長く参加されていない団体にも改めて参加を呼び掛けていくし、各団体の会員がどうすれば増えるかについても協議できると良い。
本年度目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 災害時の避難について ② （新型コロナを含め）各団体での要望や、心配なこと・困っていることについて
課題	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ下で、いかに会員の声をすくいあげるかが困難になっていること。 • 当事者本人の団体が防府に無いこと。 • 部会の参加団体が減っていること。各団体それぞれの会員自体が減っていたり、高齢化があること。
活動内容	<p>◆第1回定例会 令和4年5月10日（火）</p> <p>本年度の活動について協議し、昨年同様「災害時の避難」について話すのと、新型コロナの状況を含め、各団体での困り事や要望の声を集めていくことに。</p> <p>これまで当会があげてきた、下記の要望について、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 障害者の本人と家族が直接避難できる、福祉避難所の要望。 • 重層的支援体制整備事業、特に、属性を問わず受け止める窓口での、相談→フォローアップをぜひ実施してほしい。 • 緊急時のショートステイの拡充をしてほしい。 • 情報が錯綜する為、市内事業所での新型コロナ発生状況や対応方針を一目で把握したい。 <p>「へえーで流されるのなら、やっぱりそうなってほしくない」 「市に要望書を提出する形でないと、真摯に向き合ってもらえないのか」 といった意見があがり、どうすれば声をきちんと届けられるか、課題の改善（要望）に貢献できるかについても、話し合ってみようということに。</p> <p>他にも、防府市成年後見センターについて、</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワンストップの相談窓口として全く機能してないのでは？ そもそも相談しても、「うちじゃない」とはねつけられることがある。 • 「d払いのトラブルを抱えた人は支援が難しいから」と、本人が希望してるのに、日常生活自立支援事業について、本人へ説明すること自体を断られたりもあった。 • じゃあこういうケースは、どこにどう相談したらいいのだろうか… <p>といった声が集まる。</p>

◆第2回定例会 令和4年7月12日(火)

【コロナ禍における心配事について】

- ・活動が止まる/止まらない会がある。対面では集まらず、LINEグループで情報共有。
- ・茶話会での無駄話こそ一番求められているかも。
- ・事業所の連絡や対応、病院の面会など、施設によつての差が大きい。
- ・連絡が追いついてないと思う。噂話が錯綜する前に、情報共有できれば…。

◆第3回定例会 令和4年9月13日(火)

【コロナ禍における心配事について】

- ・どこも休みになってしまい、お盆に10日間自宅のみで大変だった。併用が裏目になった。

【当会への参加呼びかけについて】

コロナが落ちついてから、改めて電話と文章で声かけしようということに。

◆第4回定例会 令和4年11月8日(火)

【災害時の避難について】

- ・先の台風でも電源確保できる所に避難が集中。
電動車椅子の人も含め、災害での大規模停電時が心配。
- ・例えば1つの地区で実際に避難訓練を実施してみれば、課題があぶり出せないか。
- ・災害発生時の流れ・対応、障害者避難について市の取り組みを改めて教えてほしい。

◆第5回定例会 令和5年1月10日(火)

【来年度の代表はどうするか→この会のあり方について協議(結論に至らず)】

- ・子の送迎等の事情で、これ以上の負担は難しい。代替りの出席者もいない、頼めない。
- ・代表の荷が重いので、相談支援にお願いしたい。特に運営会議の出席が難しい。
- ・そもそもこの会は何の為、誰の為の会? どのような位置づけ?
- ・自分の子の心配が主であつて、雑談や情報交換は求めてはいるが、
当事者に近い意見として、親の要望や心配を反映とかまで考えてるかということ…

◆第6回定例会 令和5年3月14日(火)

【災害時の避難について】

障害福祉課 田村氏より、地域防災計画等について説明あり。

- ・福祉避難所へ直接避難できる方向性にある。個別避難計画も動き出す
といった状況について、良かったとの感想あり。
- ・避難トイレがオスメイト対応であれば、といった要望が出る。

【来年度の方針について】

- ・この会の在り方を再検討し、参加団体を増やす声かけ・試みに取組んでは。
- ・新規開設の障害福祉サービス事業所といった情報こそぜひ求む!

令和5年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会計画～

部会名	保護者サークル・団体連絡会	部会長・担当者	高木 剛（クローバーセンター）
-----	---------------	---------	-----------------

メンバー：アップルクラブ・くるみの会・手をつなぐ育成会・ポプリの会・めばえ友の会・親父の会・防府市肢体不自由児父母の会・ひめりんごの会・山口県自閉症協会防府分室・わかくさ園保護者会・キートス相談事業所・クローバーセンター・防府市障害者生活支援センター・ゆめサポート相談所・障害福祉課・社会福祉士（オブザーバー）

テーマ：保護者も当事者もきょうだいも、家族みんなが困らない社会を目指して

長期目標	<ul style="list-style-type: none"> 必要な声を届け、障害者（児）のいる家族が困らない体制ができる。 各団体同士が情報共有でき、団体内の問題・課題が解決できるようになる。
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> 各団体から拳がった意見・要望を共有し、必要な課題に取り組み、意見を届ける。 当部会で共有した情報を各団体に周知してもらう。 長く参加されていない団体や新しくできた団体などに参加を呼び掛けていくかを検討する。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 災害などの緊急時に保護者だけでは対応できないと不安の声がある。 行政や相談員から新たな福祉サービスの情報などを得たい。 当部会の参加団体が減り、幅広い情報が聞けなくなった。
活動内容（予定）	<ul style="list-style-type: none"> 奇数月の第1月曜日に定例会実施予定 [開催予定日] 第1回 令和5年5月9日（月） 実施済み 第2回 令和5年7月3日（月） 実施済み 第3回 令和5年9月4日（月） 第4回 令和5年11月5日（月） 第5回 令和6年1月15日（月） 第6回 令和6年3月4日（月） <p>場所：防府市身体障害者福祉センター 時間：10:00～11:00</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体の要望・心配ごとなどを共有し、運営会議やパブリックコメントなどに届ける意見をまとめる。